

## ～ V-Low マルチメディア放送を活用した防災情報配信 ～

# 宗像市において V-ALERT 導入に向けた防災ラジオの配備を開始

宗像市(福岡県宗像市 市長 谷井博美)は、昨今多発する台風や集中豪雨から住民の暮らしの安全・安心を確保するために、本年度より新しく始まる V-Low マルチメディア放送(\*1)を活用した災害情報配信(V-ALERT)の導入に向け防災ラジオの配備を開始します。

宗像市におきましては、平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災を受けて、地域防災計画の修正を行い、この計画に基づき、県、市、関係機関、市民等が一連の防災活動を適切に実施することにより、市民の生命や財産を災害から守り、被害の軽減を図ることとしております。

中でも情報伝達手段の具体的な施策としては、主に津波・高潮による被害のおそれのある沿岸地域に24基の屋外スピーカー(防災行政無線)を配備すると共に緊急情報伝達システムを整備する等を進めておりますが、この度土砂災害警戒区域に住まわれている住民を対象とした V-Low マルチメディア放送を活用した V-ALERT の導入に向けて、防災ラジオの配備を市内三郎丸地区において試験的に行います。

今後、株式会社 VIP の無線局免許取得後、防災情報配信の試験発信を実施いたします。

これまで、防災行政無線の拡声子局からの情報配信では豪雨の際に家の中で聞こえないといった報告や携帯電話等を持たない世帯に対しての情報伝達方法についての課題がありました。

今回の V-ALERT を活用することで、警戒区域に配布した防災ラジオ(MeoSound VL1 \*2)に対して迅速な情報配信が実現出来ることが期待されております。

### 【概要】

1. 防災ラジオの配備時期  
2015年9月～
2. 対象地区  
宗像市三郎丸地区の土砂災害警戒区域
3. 対象世帯数  
87世帯

今後予定される試験発信の結果を受けて、今後宗像市では他の土砂災害警戒区域等にも V-ALERT を活用する範囲を広げる検討を進める予定です。

### \*1 「V-Low マルチメディア放送」について

V-Low マルチメディア放送は、アナログテレビ終了後に空いた周波数を利用して創設される新たな放送サービスで、株式会社エフエム東京が中心となり 2014 年 1 月に BIC 株式会社(代表取締役社長 千代勝美)を設立、子会社である株式会社 VIP(代表取締役社長 仁平成彦)が 2014 年 7 月に開設計画の認定を、2015 年 6 月に九州・沖縄広域圏、7 月に関東・甲信越広域圏の予備免許の交付を総務省から受けており、今後各地域において移動受信信用地上基幹放送の認定を経て、2015 年度内に放送開始すべく進めています。

### \*2 「防災ラジオ」TAXAN MeoSound VL1(タクサンミーオサウンドブイエールワン)について

MeoSound VL1(以下 MS-VL1)は、電子部品商社の加賀電子株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長 門良一)の 100%子会社、加賀ハイテック株式会社(東京都中央区、代表取締役社長 関祥治)が製造するハイブリッド防災ラジオです。

**PRESS RELEASE**

2015年9月28日



重さ:470g(乾電池含まず)

●お問い合わせ : 宗像市役所地域安全課  
(担当 田中、伊豆)